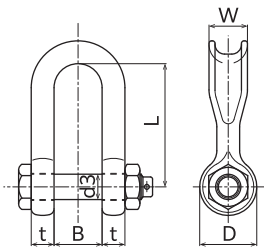


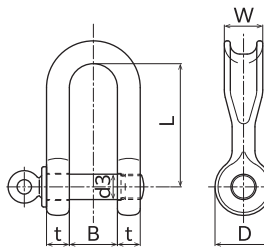
WRS

ストレートタイプ
ボルトナット



WRSE

ストレートタイプ
捻込み



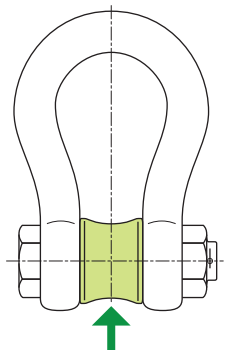
【 WRS (ストレートタイプ/ボルトナット) ・ WRSE (ストレートタイプ/捻込み) 】 単位=mm

形 式		呼 び (使用荷重tf)	t 厚 さ	B 口 巾	L 長 さ	W 天 巾	D 頭 径	d3 ボルト径	捻 サイズ	参考重量 (kg)
WRS (5t~32t)	WRSE (5t~20t)	5t	22	44	120	38	55	26	M24	1.9
		10t	30	65	165	50	75	36	M36	5.2
		16t	38	80	205	64	95	42	M42	9.6
		20t	42	90	230	70	105	48	M48	13.5
		25t	50	100	255	85	120	56	M56	21.0
		32t	60	115	290	102	135	64	M64	32.6

NOTE

ブルーロード = 使用荷重 × 2倍 静的強さ = 使用荷重 × 6倍以上
鍛造成形につき、天巾は多少寸法の誤差が生じる場合がございます。
疲れ試験：WRBE3.5Tは繰り返し荷重試験で破断しませんでした。(JISの規格をクリアしています)

【軽量型ワイドシャックル・軽量シャックル オプション用ローラー】 単位=mm



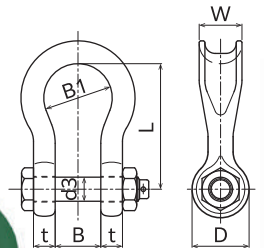
ローラーシャックルに代用できます。
ワイヤーを保護します。
(シーブ回転には使えません)

呼 び (使用荷重)	A 口 巾	B 外 径	C 溝 径	参考重量 (kg)
2.5t	25	34	28	0.10
3.5t	30	40	33	0.17
5t	42	55	45	0.45
10t	63	75	63	1.2
16t	78	95	83	2.7
20t	88	100	88	3.2
25t	98	115	100	4.5
32t	113	130	115	6.8
40t	123	150	130	10.0
50t	138	170	150	15.0
63t	158	190	170	21.0
80t	178	220	190	32.0

※100t以上のサイズについてはお問い合わせ下さい。(製作実績あり)

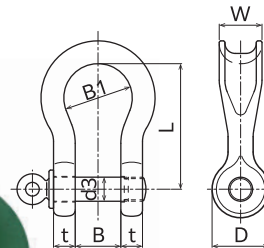
WRB

パウタイプ
ボルトナット



WRBE

パウタイプ
捻込み



【 WRB (パウタイプ/ボルトナット) ・ WRBE (パウタイプ/捻込み) 】 単位=mm

形 式		呼 び (使用荷重tf)	t 厚 さ	B 口 巾	B1 内直径	L 長 さ	W 天 巾	D 頭 径	d3 ボルト径	捻 サイズ	参考重量 (kg)
WRB (2.5t~500t)	WRBE (2.5t~20t)	2.5t	14	26	40	75	27	36	17	M16	0.6
		3.5t	16	32	48	90	32	40	19	M18	0.9
		5t	22	44	70	130	44	55	26	M24	2.3
		10t	30	65	104	190	62	80	36	M36	6.5
		16t	38	80	120	225	75	100	42	M42	12.0
		20t	42	90	150	275	94	110	48	M48	19.8
		25t	50	100	170	305	110	125	56	M56	30.8
		32t	60	115	190	340	120	140	64	M64	42.5
		40t	65	125	220	390	135	160	72	M72	61.9
		50t	70	140	240	435	155	180	80	M80	83.9
		63t	80	160	270	490	170	200	90	M90	119.8
		150t	110	165	275	524	200	260	120	M110	210.0
		200t	120	185	290	600	215	282	135	M135	265.0
		350t	140	215	305	630	255	320	165	M155	470.0
		500t	180	225	350	736	300	392	190	Tr180	1020.0

NOTE

ブルーロード = 使用荷重 × 2倍 静的強さ = 使用荷重 × 6倍以上
鍛造成形につき、天巾は多少寸法の誤差が生じる場合がございます。
疲れ試験：WRBE3.5Tは繰り返し荷重試験で破断しませんでした。(JISの規格をクリアしています)

About the Product

ワイドシャックルとは？

従来の丸型シャックルに溝を入れ、本体径である
D寸法を大きくした シャックルです。

ワイドシャックルの主な特徴・従来の丸型シャックルとの違い

- シンプルがなくても、ロープが傷みにくい。
- 丸型のシャックルよりも**1.7倍～2倍、ロープの痛みがない。**
- シャックル本体が自立するので、作業がラク。
- 焼入性が向上し、軽くて強い。
- ワイヤーの形くずれがなく、使いやすく安全。

